# 平成29年6月期 決算説明会



証券コード1382 **株式会社 ホーブ** 

# 会社概要

会社名

代表取締役社長

設立

本社所在地

資本金

発行済株式総数

**一 従業員数** 

事業所

連結子会社

株式会社ホーブ

政場 秀

昭和62年6月

北海道上川郡東神楽町

4億2125万円

762,000株

54人(連結)37人(個別)

北海道本社/東京本部/関西事業所

株式会社エス・ロジスティックス

※連結子会社であった株式会社ホーブ21、株式会社ジャパンポテトは平成28年10月に吸収合併いたしました。

# 事業内容

事業区分(セグメント)および事業内容

事業区分	事業内容		
いちご果実・青果事業	いちご果実(自社品種・その他いちご)、青果、農業用資材等の仕入販売		
種苗事業(当社)	自社いちご品種、その他種苗の生産と販売		
馬鈴薯事業(当社)	種馬鈴薯の生産販売及び仕入販売 青果馬鈴薯の仕入販売等		
運送事業 (株式会社エス・ロジスティックス)	運送業務		

<sup>※</sup>連結子会社であった株式会社ホーブ21、株式会社ジャパンポテトは平成28年10月に吸収合併いたしました。

# 業績の概要

# 連結業績

	当期 H29/6期	前期 H28/6期	増減額	增減率 (%)
売上高	3,722	4,485	△763	△17.0
売上総利益	582	743	△160	△21.6
営業利益	△183	△68	△114	_
経常利益	△177	△60	△116	_
親会社株主に 帰属する 当期純利益 <sup>※</sup>	△409	△110	△299	_

<sup>※</sup>固定資産の減損損失による特別損失229百万円を計上しております。

# ゆ セグメント別売上高

	当期 H29/6期		前期 H28/6期	増減率 (%)
		構成比 (%)		
いちご果実・青果事業	3,146	84.5	3,143	0.1
種苗事業	42	1.1	45	△6.8
馬鈴薯事業	450	12.1	1,210	△62.8
運送事業	83	2.2	86	△4.0
連結	3,722	100.0	4,485	△17.0

## ゆ セグメント別営業利益

	当期 H29/6期	前期 H28/6期	増減率 (%)
いちご果実・青果事業	△29	9	
種苗事業	8	6	30.2
馬鈴薯事業	△17	60	
運送事業	19	20	△5.5
調整額※	△165	△166	
連結	△183	△68	

<sup>※</sup>調整額は主にどの部門にも帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

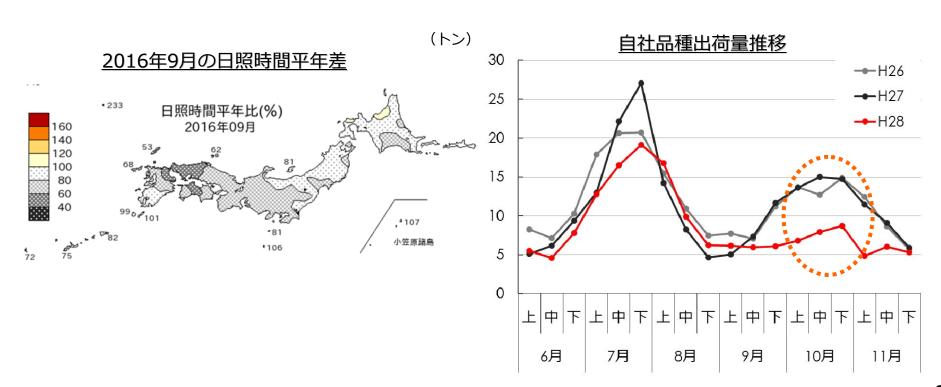
## セグメント別の状況



## いちご果実・青果事業-自社品種の出荷状況-

- 9月の全国的な日照不足の影響で出荷数量が落ち込む。
- 日照不足は10,11月の出荷数量にも影響。

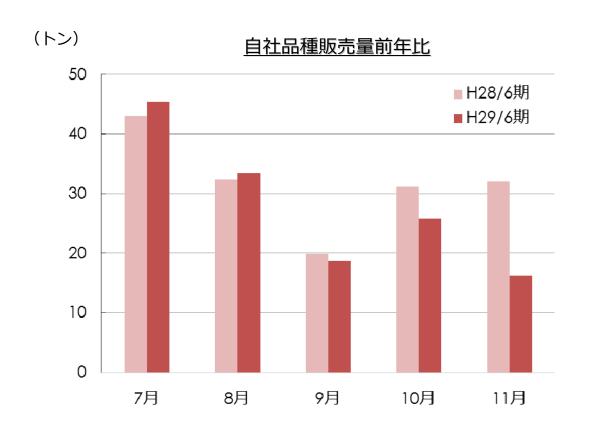
(10,11月の出荷数量は前年比約55%減少)





## いちご果実・青果事業-自社品種の販売状況-

- 新品種「夏瑞/なつみずき」の生食向け販売を展開。
- 7月に供給過剰となることを想定し、加工用などの販売を強化。
- 9月以降は出荷量の落ち込みに伴い、販売量の抑制を余儀なくされる。



## 新品種「夏瑞/なつみずき」本格販売

2016年に「夏瑞/なつみずき」の商標登録を取得し、特に大玉の果実を「夏瑞」、その他の果実を「なつみずき」として本格販売。



最大の特長である食味の良さを活かし、百貨店、量販店で生食用として販売。非常に高い評価を得た。





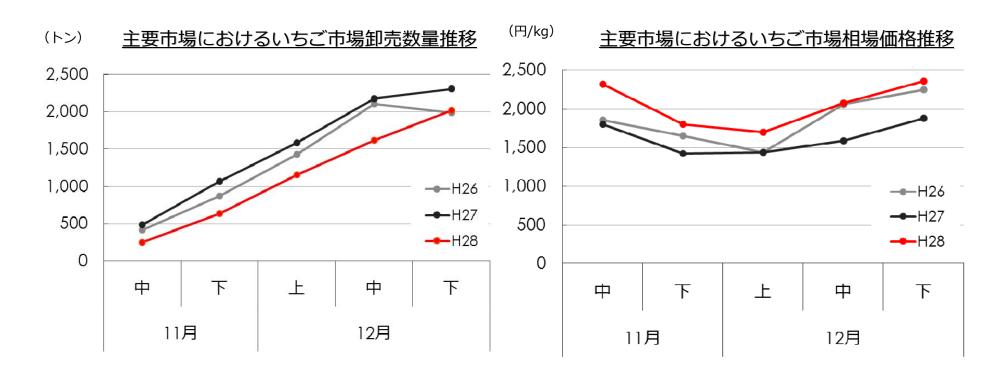


▲札幌市内百貨店の協力で「夏瑞」の誕生を記念してデビューフェアを開催 生食向けだけではなく、「夏瑞」を使用したスイーツも併せて販売。



## いちご果実・青果事業-クリスマス期の状況①-

- 9月の極端な日照不足の影響が促成いちごの初期成育に影響。
- 市場への入荷量は例年よりも少なく、市場相場価格は高値で推移。

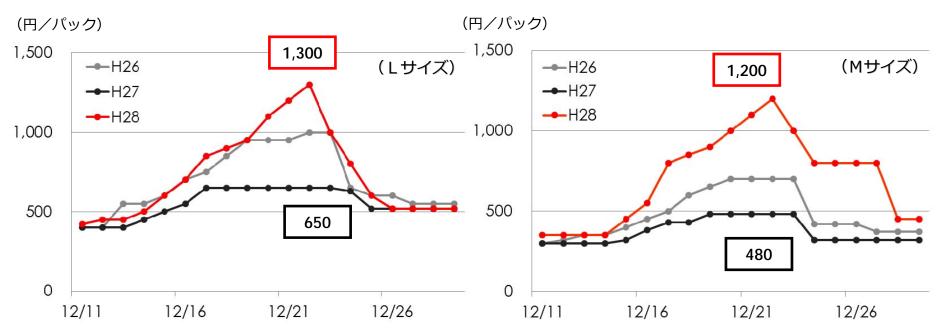




## いちご果実・青果事業ークリスマス期の状況②ー

- 小玉サイズを中心に市場相場価格は高騰。
- クリスマス期以降も小玉を中心に高値が続いたことで、 固定価格での販売先に対し大幅に利益が減少する結果となる。

#### <u>大田市場におけるいちご市場相場価格推移(業務用サイズ)</u>

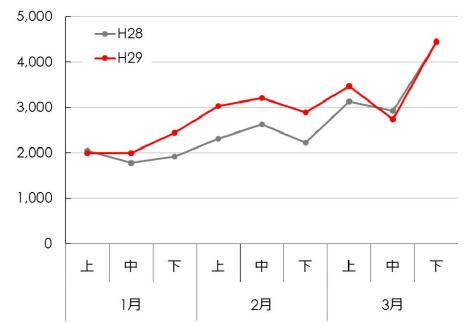




## いちご果実・青果事業-下半期の状況-

- 前年は1月中旬から2月にかけて市場への入荷量が激減。今年はいちご果実の市場への入荷量、市場相場価格は比較的安定して推移。
- 販売数量、売上高は前年並み、利益面は改善されたものの、上半期の落ち込みをカバーするには至らず。

#### (トン) 主要市場におけるいちご市場卸売数量推移



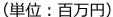
#### 下半期いちご果実販売実績(1~6月)

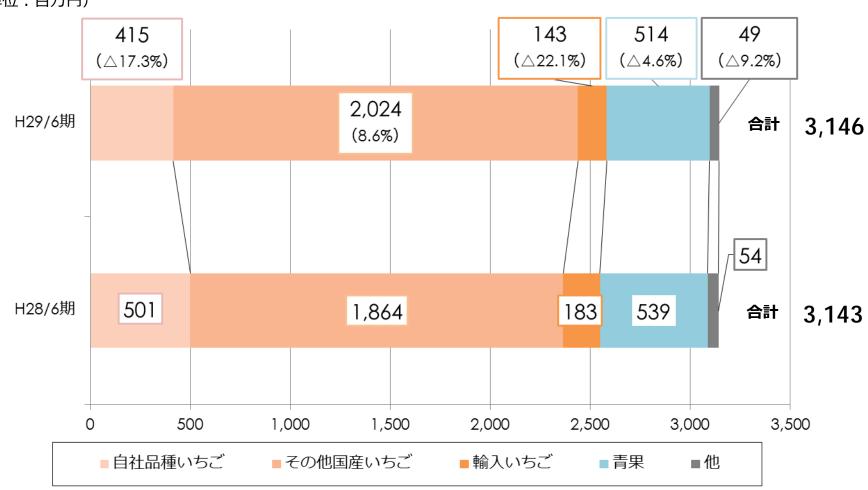
	H28/6期	H29/6期	
販売量	761 ⊦⊳	758 ہی	
売上高	1,089百万円	1,073百万円	
総利益	129百万円 175百万円		

※当社販売データより



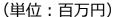
### いちご果実・青果事業―品目別売上高ー

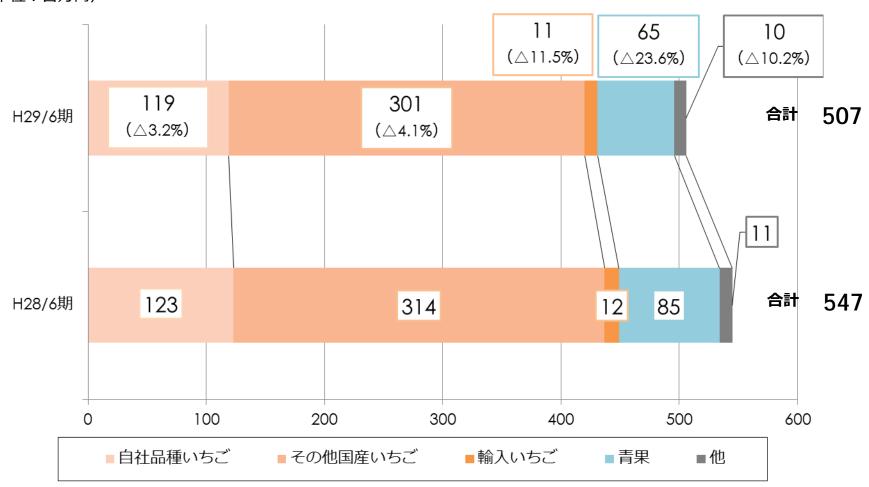






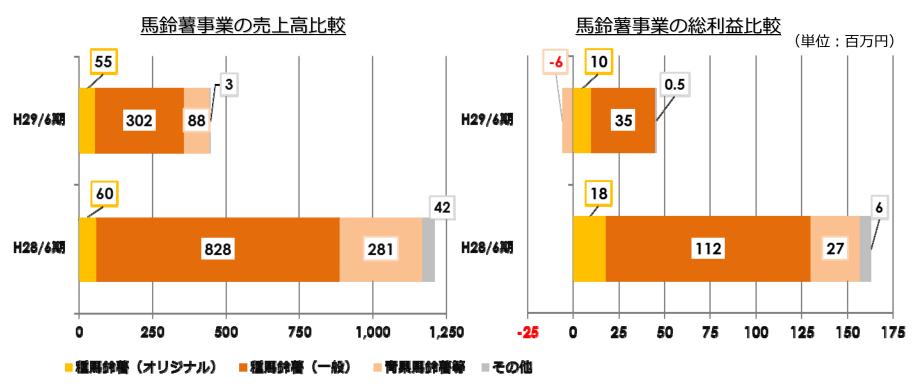
## いちご果実・青果事業―品目別総利益―





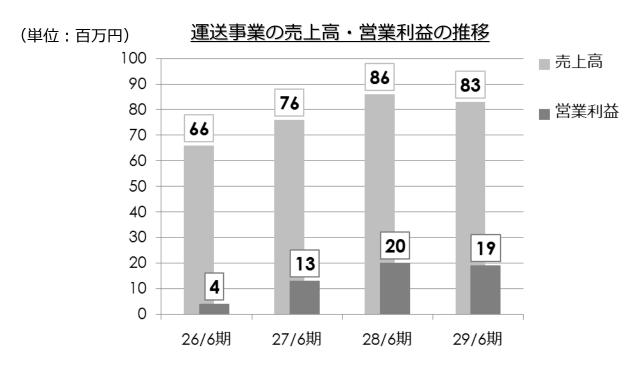
# 馬鈴薯事業

- 昨年4月の熊本地震、北海道における台風、大雨被害の影響で、 主要な馬鈴薯仕入産地での生産量が減少。
- 十分な仕入数量を確保できず、売上高・利益ともに前年を下回る結果となる。



# 運送事業

荷主における、コスト削減の一環による配送コース集約の動きもあり、売上高、利益ともに微減。



※株式会社エス・ロジスティックスは平成25年12月19日付で、国土交通省指定の全国貨物自動車運送適正化事業実施機関より「安全性優良事業所(Gマーク)」の認定を受けております。

## 今後の対応

#### ● いちご果実・青果事業

- ・新品種「ペチカほのか」(商品名 夏瑞/なつみずき)の生食用としての販売展開、 加工用としての新たな販路の開拓。
- ・新品種「ペチカエバー」(商品名 コア)の収量性の高さを活かし、促成いちごと の端境期、いちごの品薄となる時期の出荷量確保。
- ・促成いちごの販売時期(主に12~5月)における適正な数量の仕入、品質向上に向けた 仕入体制強化を継続。
- ・顧客への配送効率化を図り、配送コストの削減。

#### ● 種苗事業

・食味の良い新品種「ペチカほのか」の特長を活かし、生食用を主体とした産地の展開。

#### ● 馬鈴薯事業

・国内販売権を有する海外オリジナル品種の生産地拡大に向けた青果馬鈴薯の販売強化。

#### ● 運送事業

・配送業務のさらなる効率的な運用と、新規荷主獲得に向けた営業強化。



### 平成30年6月期 連結業績通期の見通し

#### 連結業績通期予想

	H30/6期 通期予想	H29/6期 通期実績	前期比增減額	前期比 増減率 (%)
売上高	4,135	3,722	413	11.1%
営業利益	63	△183	247	
経常利益	63	△177	240	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	47	△409	457	

